

事務事業評価表

○基礎情報

課名		環境衛生課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	26	健康で衛生的な生活環境を守る	清水 直	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	9 人	0 人	1 人	2 人	- 時間	- 時間

28年度は環境保全課の事務事業

(参考)29年度の人数

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画 の現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
環境衛生施設の監視率	H28までは、県事務	-	40%	-	-	-
狂犬病予防注射の接種率	81%	81%	84%	82%	81%	81%

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の 性質	実績			従事 者数	会計 区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28 業棚 選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ (手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務 計画	広域 連携	行革 重点								
1	動物愛護事業	動物の愛護と適正な飼養について、 飼い主の理解と関心を深め、マナー 等の啓発を推進して快適な市民の 生活環境を保全する。	定例・定型的事業				0.75	一般	1,384,000 ----- 1,254,241	犬猫の苦情受付件数	115件	123件	S	
2	環境衛生対策事業	危険害虫(スズメバチ)から市民の安全を 確保し、台風等による浸水被害 による衛生害虫の発生を防止する。	定例・定型的事業				0.99	一般	2,454,000 ----- 1,450,764	スズメバチの巣の撤去、床 下消毒の申出者への対応	100%	100%	S	
3	狂犬病予防事務事業	狂犬病の発生を予防し、これを撲滅 することにより、公衆衛生の向上及 び公共の福祉の増進を図ることを目的とする。	定例・定型的事業				2.13	一般	4,718,000 ----- 4,716,411	畜犬登録頭数	14,600頭	14,491頭	S	
4	飼い主のいない猫の不妊去勢手術及び 適正管理普及啓発事業	人と動物の共生に配慮し、地域猫活動 事業に取り組む団体を支援し、生活 環境への影響に対する効果が得 られるか検証する。	定例・定型的事業				0.69	一般	1,862,000 ----- 1,396,910	地域猫活動モデル地区数	4地区	3地区	A	
5	水道法に関する事務事業	水道施設の衛生管理等の監視指導 や、事業者による自主管理の推進を図り、市民の健康を守る。	定例・定型的事業				0.19	一般	117,200 ----- 5,000	貯水槽水道の管理の検査 結果報告の年間受理件数	270件	243件	S	

6	鳥獣保護管理事業	鳥獣の保護と鳥獣による生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害を防止し、豊かな自然環境の確保及び健全な地域社会の発展に資することを目的とする。	定例・定型的事業				0.48	一般	2,701,000 ----- 1,867,417	はこわな貸出件数	60件	53件	S	
7	墓地管理等事務事業	市有墓地・無縁墓地の管理、墓地改葬の許可、引取者のない死体の火葬及び埋蔵を実施する。 また、墓地等の経営の許可等の事務を行う。	定例・定型的事業				0.51	一般	1,663,000 ----- 1,607,527	墓地及び埋葬に関する法律第9条に基づく埋葬等件数	2件	7件	S	
8	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				-	一般	0 ----- 0	-	-	-		
9	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				-	一般	0 ----- 0	-	-	-		
合計							5.74	予算 決算 繰越	14,899,200 ----- 12,298,270 ----- -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>環境衛生課に移行された第3次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き7事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、「A」評価の1事業以外は、全て「S」となっている。</p> <p>指標の達成状況や事業の成果に着目すると、この6事業は全て80％以上達成できた事業であり、順調に事業が実施できており、成果があった事業という評価となった。</p> <p>なお、飼い主のいない猫の不妊去勢手術及び適正管理普及啓発事業については、目標に対して1地区下回ったが、地域との話し合いは継続しており、平成29年度中には取り組みが開始される見込みのため「A」評価とした。</p> <p>人工については、前環境保全課によるものであり、狂犬病予防事務事業(2.13人)が大きな人工を占めているが、保健所政令市移行に伴い29年度以降は寒川町域も含め、迷い犬の捕獲や抑留の業務等も行うことからさらに増加する見込みである。</p> <p>環境衛生課の事業は、上記の環境保全課より移行した事務事業のほか、新たに市で行う環境衛生関係営業施設等の許可等に関する事業や医薬品等監視指導事業をあわせて、29年度より事業を展開する。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
-	-	-

5 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-